



令和5年9月29日 発行  
東京都立しいの木特別支援学校  
校長 濱渦 孝治  
担当 大澤 弘幸  
電話 0436-66-2790

第5号  
(学校便り)

## 学びの充実に向けて

校長 濱渦 孝治

長い夏休みが終わり、校内に子供たちの元気な姿が戻ってきて、「学びの秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」・・・の2学期が始まりました。心身ともに、実りある学校生活としていきましょう。

さて、9月1日（金）の始業式では、学校の生活リズムを少しずつ取り戻すことや、各学部の今学期の目標、そして、9月1日の防災の日についてお話ししました。防災の日は、大正12年（1923年）9月1日に発生した「関東大震災」が由来となっており、今年には100年の節目に当たります。災害は、いつ起こるかわかりません。あらためて避難場所・避難経路を確認しておく、備蓄品や非常時の連絡方法、情報収集の手段を確認するなど、日頃の備えをしていきましょう。本校では令和4年度から取り組んでいる人権尊重教育推進校のテーマの一つとして、「災害に伴う人権問題」を取り上げ、災害時に起こりやすい人権問題について気づき課題を解決する方法について、高等部の授業の中で話し合い活動をとおして学習しております。今後も、全校児童・生徒と一緒に考えられるよう、防災訓練や、しいの木集会で、防災について、みんなと勉強していく予定です。

また、始業式後には、漢字検定協会主催「漢字検定」の合格者の発表及び表彰を行いました。生徒一人一人が、自分の級が上がることを励みに頑張っており、これからも更に上を目指していきましょう。

### 【夏季研修会報告】

本校では、今年度も夏季休業中に、本校教員を対象とした研修を集中的に実施いたしました。「人権尊重教育」「ICT教育」「学習指導」を主なテーマに、大学教授、教育研究機関の方など専門的な視点で、ご講義いただくとともに、ワークショップなどの体験を交えて学びました。

研修の目的は、人権教育を進める上で共通の考えや認識をもつこと、特別支援教育の基礎・基本を習得すること、ICT教育の最新の技術を身につけること、特別支援教育の専門性を更に向上させることです。研修で培った専門性を生かし、2学期も児童・生徒が自身の能力を最大限に伸ばすことができるよう、個別最適な学びを展開していきます。今回、一部の講座には、東京都千葉福祉園の職員さんもお参加いただきました。今後、更に学校と施設とが連携し、一貫した指導につなげていきたいと思っております。

また、都立中野特別支援学校と杉並区立済美養護学校の合同研修会に本校も参加し、「卒業後の進路選択の幅を広げるために」というテーマで学びました。子供たちは高等部を18歳で卒業してからの人生が長く続きます。学校生活の1年を大切に、子供たちが、「よりよく生きる」「よりよく社会生活を営む」ことができるよう、それぞれが必要となる力を身につけて欲しいと願っています。

引き続き、保護者、関係機関等の皆様との協力をお願いするとともに、感染症や熱中症などにも気をつけ、子供たちと一緒に2学期の学びを充実させてまいります。

### 災害に備えて各種の防災訓練や学習を行いました。

9月1日（金）には、のびろ学園バスでの下校中に、災害が発生したことを想定した訓練を行いました。バス乗車中の、のびろ学園職員から被災の連絡を受け、学校から応援の教員がバスに駆けつけるといった内容でした。登下校中の発災に対しての行動を確認することができました。

9月5日（火）には全校で引き渡し訓練を行いました。大地震の発生時を想定して、寮（保護者）に児童・生徒を引き渡す訓練です。のびろ学園の皆さんは、バス乗車時に職員への引継ぎ、引き渡しを行いました。千葉福祉園の皆さんは、ヘルメットを着用して危険な場所を避けながら、教員が引率して寮まで帰り、職員に引き継ぎ、引き渡しを行いました。

その他、高等部では11月の修学旅行に向けて、授業の中でも防災に関する学習を進めています。避難所の生活ではどのようなことが起きるか、何をすれば良いか等、皆で考える学習を行いました。また、しいの木集会では、災害について考えるコーナーも設けました。宮城県南三陸町の震災復興祈念公園に保存してある、津波で水没した防災庁舎の建物の写真を見ながら、被災地の様子なども考えました。今後の学習に役立ててほしいと思っております。

(主幹教諭 伊丹 聡)

## 10月の予定

|    |   |                                  |
|----|---|----------------------------------|
| 1  | 日 | 都民の日                             |
| 2  | 月 |                                  |
| 3  | 火 | 身体計測 (小学部)                       |
| 4  | 水 | 身体計測 (中学部)<br>発達相談               |
| 5  | 木 | 身体計測 (高等部女子)                     |
| 6  | 金 | 身体計測 (高等部男子)<br>高等部入学相談説明会 (中3)  |
| 7  | 土 |                                  |
| 8  | 日 |                                  |
| 9  | 月 | スポーツの日                           |
| 10 | 火 |                                  |
| 11 | 水 |                                  |
| 12 | 木 | 眼科精密検査                           |
| 13 | 金 | 避難訓練 (火災、二次避難)                   |
| 14 | 土 |                                  |
| 15 | 日 |                                  |
| 16 | 月 |                                  |
| 17 | 火 | 整形相談                             |
| 18 | 水 |                                  |
| 19 | 木 |                                  |
| 20 | 金 |                                  |
| 21 | 土 |                                  |
| 22 | 日 |                                  |
| 23 | 月 |                                  |
| 24 | 火 | 短縮授業日 (13:50 下校)<br>しいの木集会、安全指導日 |
| 25 | 水 |                                  |
| 26 | 木 |                                  |
| 27 | 金 | 小学部6学年修学旅行<br>小学部3学年校外学習         |
| 28 | 土 |                                  |
| 29 | 日 |                                  |
| 30 | 月 |                                  |
| 31 | 火 |                                  |

### 小学部

2学期が始まり、1カ月が経ちました。小学部では、「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」を楽しみながら、授業を行っています。涼しい風が吹く日には、教員と手をつなぎ、車道に出ないように安全に気を付けて歩行に出かけています。図画工作では、色水遊びやシャボン玉遊びを取り入れるなど、児童の興味・関心が高まるよう授業を工夫しています。衣類や手足が濡れてしまったり、汚れてしまったりしますが、身体全体で制作活動を楽しんでいます。子供たちが制作した素敵な作品は、校内に展示しています。校外の作品展にも出品する予定です。来校された際は、ぜひご覧ください。2学期は、修学旅行や校外学習、音楽鑑賞会など、たくさんの行事があります。子供たちが十分に学び、楽しめるように、日々の授業を大切にやってまいります。(文責：山田麻衣)



### 中学部

暑い日が続いていますが、生徒たちは大きく体調を崩すことなく元気に過ごしています。中学部には2学期から2組に新しい仲間が加わり、7名になりました。

さて、2学期は学校行事がたくさんあります。3学年は修学旅行で、東京ディズニーランド、千葉ポートタワーに行きます。ルールを守り、友達や先生と楽しく過ごせるように、事前学習にもしっかり取り組んでいきます。1、2学年もバスを利用してファストフード店に昼食を食べにいきます。楽しい時間を過ごしながらも、日々の学習の成果を発揮することができるように指導してまいります。(文責：齋藤 友理奈)



### 高等部

高等部では、しいの木タイムを前期と後期に分けて行っています。9月に後期しいの木タイムの所属希望調査をしました。ほとんどの生徒が継続を希望しました。自分で選んだ内容で楽しく過ごす経験は、卒業後の余暇活動へつながっていきます。一般的に充実した余暇を過ごすには二種類の楽しみをもつと良いと言われます。一つは「一人で楽しめるもの」、もう一つは「集団で楽しめるもの」です。

学校を卒業し社会に出ると、何らかの形で「働く生活」を送ります。長く働く生活を続ける秘訣は仕事と余暇をバランスよく楽しむことです。自分の時間を上手に使うこと、疲れすぎないようにすること等、ただ「楽しい」だけではなく、メリハリをもって楽しく過ごすことが重要になってきます。これからも、しいの木タイムが、生徒にとって自発的に楽しい時間を作る活動になるよう、支援していきます。

(文責：古山 武)

